

農林水産大臣賞

第53回(令和6年度)全国豆類経営改善共励会

大豆 家族経営の部

スマート農業技術と営農支援システムで高い収量と高品質の大豆生産を実現

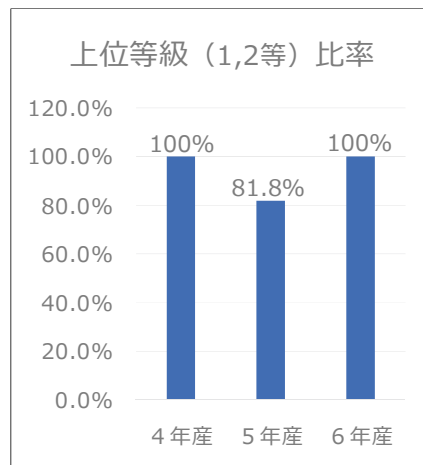
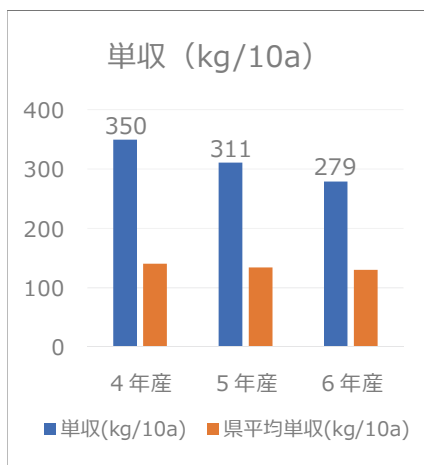
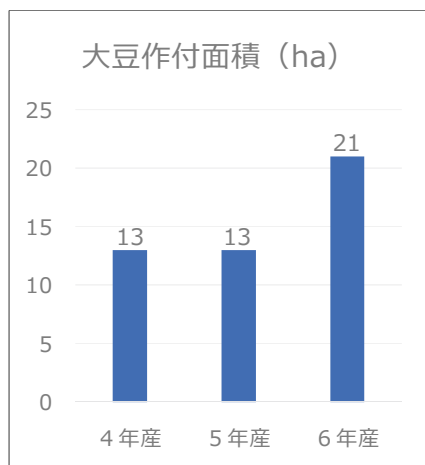
株式会社おしの農場 代表 押野和幸

(山形県天童市)



経営のタイプ	法人
農地面積（令和6年度）	120 ha
大豆作付面積（令和6年度）	21 ha
品種名（◎奨励品種）	◎里のほほえみ

■大豆生産状況



■技術の特色

排水対策を徹底し、出芽率向上や初期生育確保に努めている。自動操舵システムのトラクタやドローンによるスマート農業、営農支援システムも活用し、省力化と生産コスト減、新技術の導入を進めている。この取組は、スマート農業技術活用促進法に基づく生産方式革新実施計画の全国第1号の認定となった。

■経営の特色

経営面積が年々拡大する中、労力分散のために大豆栽培面積の拡大を計画しており、安定経営に大豆が占める影響は大きい（R4年R5年13ha→R6年21ha）。地域農業の指導的役割を担っており、令和7年度の山形県農業士会長に任命される等、集落の中心的な農業リーダーであり、大豆・水稻栽培の高い技術力への信頼が厚い。

■販売・消費拡大の特色

出荷先の要望に応えた品種を選定するとともに、集荷業者と契約栽培している。2年前から地元の味噌加工業者へ原料としての供給を開始した。今後も加工業者との情報共有を行い、要望に応える大豆生産に取り組む。現状は取扱いがないが、将来的には自社ブランドの大豆製品の販売を目指している。



ドローンを活用し作業効率性向上



中耕除草も自動操舵システムを利用し効率化

農林水産省 農産局長賞

第53回(令和6年度)全国豆類経営改善共励会

大豆 家族経営の部

耕種農家へ良質種子供給で大豆増産に寄与

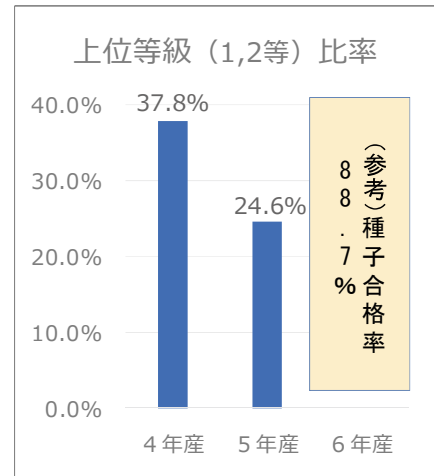
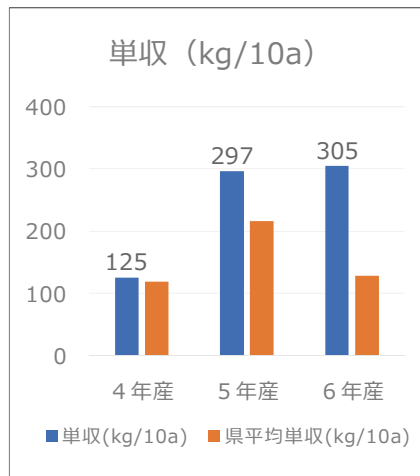
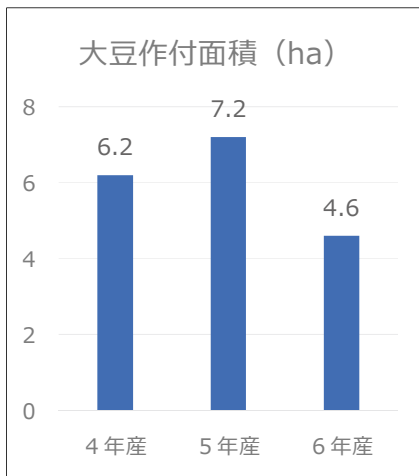
(株)徳永ファーム 代表 徳永英憲

(佐賀県佐賀市)



経営のタイプ	法人
農地面積（令和6年度）	8.2 ha
大豆作付面積（令和6年度）	4.6 ha
品種名（◎奨励品種）	◎フクユタカ

■大豆生産状況



■技術の特色

従来の2粒播きから目皿を3粒播きに変え出芽苗立ちを確保している。また、キューホ除草カルチを使用し、省力化や除草剤低減を図っている。

■経営の特色

当会社は、平成28年に設立し、いちご経営を行ってきた。
令和6年産表作から、父親より7.9haの面積を移譲し水稻3.2ha大豆4.6haを作付した。
キューホ除草カルチの使用やリターンデッチャ等、水稻では、ドローン防除を行い機械を駆使したICT農業を確率している。

■販売・消費拡大の特色

種子生産という重大な責務のもと、病害虫の発生には充分注意し高品質な種子の供給のため管理作業に励んでいる。



素晴らしい成果を挙げる
徳永ファームのご家族

農林水産省 農産局長賞

第53回(令和6年度)全国豆類経営改善共励会

大豆 集団の部

大豆の採種事業を柱にした、法人経営の安定と大豆生産振興への貢献

農事組合法人いまでら（代表理事 中村浩章）

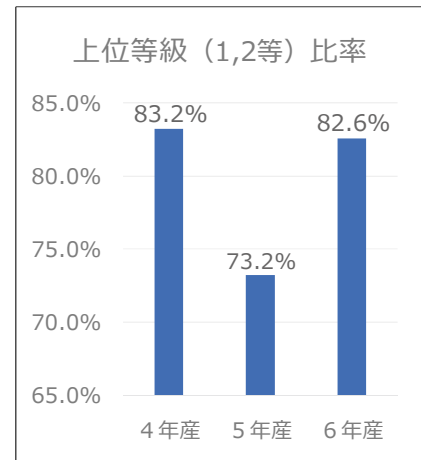
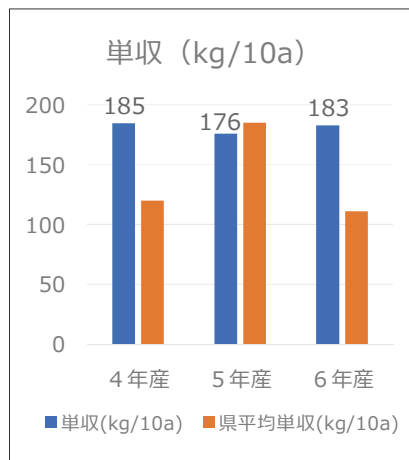
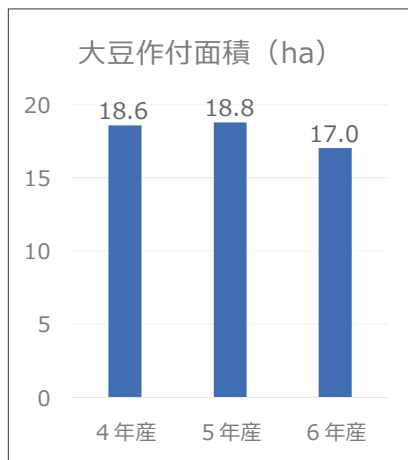
（構成農家：17戸）

（福岡県筑後市）

経営のタイプ/集団のタイプ	法人	協業
農地面積（令和6年度）	24.8 ha	
大豆作付面積（令和6年度）	17.0 ha	
品種名（◎奨励品種）	◎ちくしB5号	



■大豆生産状況



■技術の特色

団地化やほ場に応じた排水対策による条件整備を実施している。また適期に短期間で一斉播種を行い、生育量の確保および生育の均一化につなげ、その後の適期管理を容易にしている。また、こまめな手取り除草や独自に行っている発生予察に基づいた病虫害防除を行っている。

■経営の特色

収益性の高い大豆作を法人経営の中心とし、県産大豆の安定生産に向けた種子の安定供給に貢献するため、採種事業に取り組んでいる。経営は法人化を行い、収支に関して明確化と構成員への共有化を図るとともに、機械等のコスト低減とオペレータ方式による省力化を進めている。

■販売・消費拡大の特色

県大豆振興にあわせた従来の「フクユタカ」から現在の「ちくしB5号」への品種誘導を円滑に進めるため、種子供給が遅滞なくできるよう、県やJAとの連携のもと積極的に取り組んでいる。



採種の現地審査会で講評を受ける様子



農事組合法人いまでらのみなさん

全国農業協同組合中央会 会長賞

第53回(令和6年度)全国豆類経営改善共励会

大豆 家族経営の部

特徴 ほ場地下水位制御及び部分浅耕一工程播種技術を活用した、乾燥害軽減対策による大豆高収量の実現

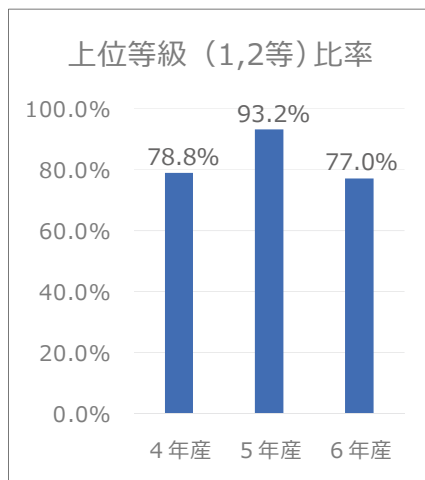
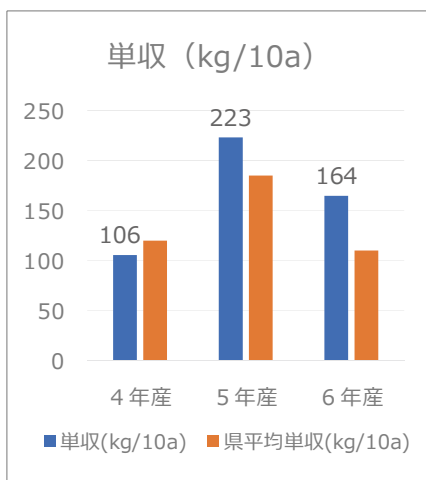
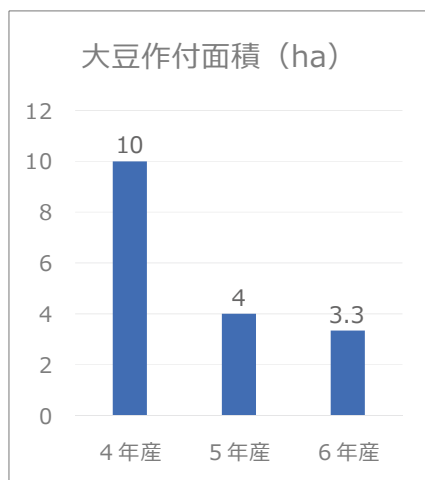
清水 陽介

(福岡県宗像市)



経営のタイプ	個人
農地面積（令和6年度）	23 ha
大豆作付面積（令和6年度）	3.3 ha
品種名（◎奨励品種）	◎ちくしB 5号

■大豆生産状況



■技術の特色

適期播種や出芽率向上に努めるとともに、ほ場地下水位制御及び部分浅耕一工程播種技術の導入による過乾湿対策、播種前からの体系防除や手取り除草による雑草対策、フェロモントラップや管理情報等による病害虫対策の徹底を心がけ、収量・品質向上に向けた細やかな管理に努めている。

■経営の特色

夫婦と両親の家族経営で、水稻・麦・大豆の土地利用型農業と加工キャベツとの複合経営を行っている。令和6年は水稻約15ha、麦約18ha、キャベツ約4.3haおよび大豆約3.3haを作付け、省力・低コスト化による安定生産や地域活動への積極的な参加などを心がけており、地域からの信頼は厚い。

■販売・消費拡大の特色

市の認定農業者協議会が主催する消費者との交流で、自身のほ場を提供し枝豆刈り行事等に協力している。また、地元小学校の米づくりや枝豆づくりの体験授業に協力している。



水路の水位を高めている様



枝豆刈り交流会の様

全国農業協同組合連合会経営管理委員会 会長賞

第53回(令和6年度)全国豆類経営改善共励会

大豆 集団の部

地域との共生・先端技術と農法を駆使 大豆増産で地域課題の解決をも図る

戸ヶ里生産組合（代表 定松右樹）

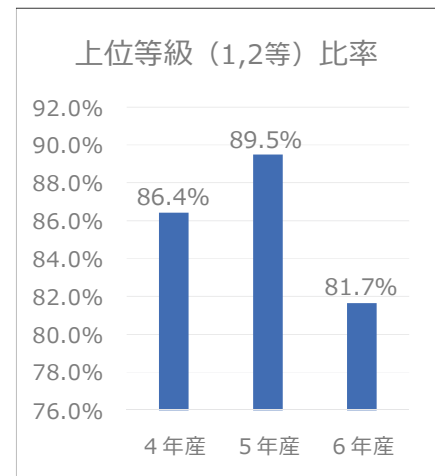
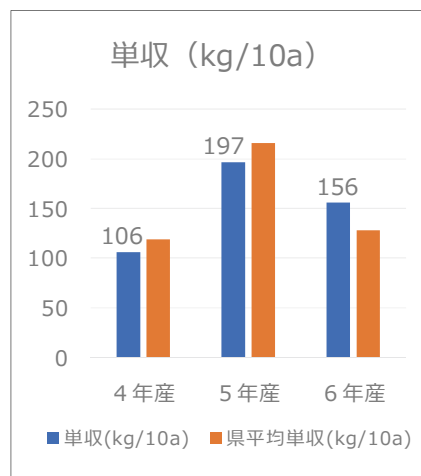
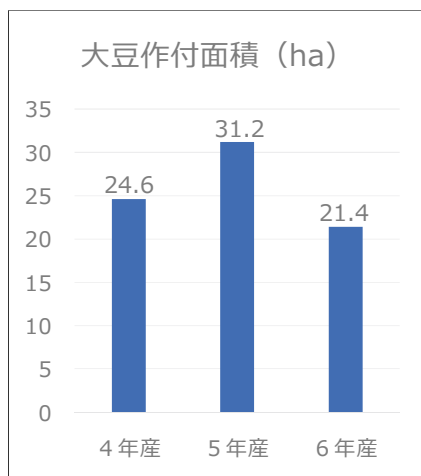
（構成農家：8戸）

（佐賀県白石町）



経営のタイプ/集団のタイプ	任意団体	集団栽培
農地面積（令和6年度）	83.3 ha	
大豆作付面積（令和6年度）	21.4 ha	
品種名（◎奨励品種）	◎フクユタカ	

■大豆生産状況



■技術の特色

排水対策に注力。サブソイラーや石灰投入による酸度矯正で播種準備を迅速化。逆転ローターを使用して出芽率向上と苗立ち確保。鎮圧や茎葉処理剤の体系処理。無人ヘリやドローンで効率的な適期防除。麦わらの全量すき込みによる資材削減と土壌改善。JA大豆コンバイン委託による短期間での刈取りを行っている。

■経営の特色

水稻と大豆を基幹作物として水田経営を行い、裏作には麦・玉葱を作付けし2毛作体系を行うことで田の有効活用につながっている。また麦わらのすき込みによる土づくりを行っている。

■販売・消費拡大の特色

JAの会合の積極的な参加。生産組合内での会合ではお互いに情報交換を行っている。地域住民と協力して安全安心な農産物生産のため圃場周辺の環境整備（除草作業等）地域の美化活動を行う。



戸ヶ里生産組合
代表 定松右樹さん